科目ナン	バリン	グ U-I	LAS03 100	001 SB48									
授業科目 <英訳>	名 Read Scien :Wha	か?/健原 ings in H nces (All nt is the P	献研究 (全・英)-E1:公衆衛生学と ・?/健康格差から見る問題点 gs in Humanities and Social es (All Faculties, English)-E1 is the Public health? Issues from ealth Gap				属名	非常勤講師 前田 祐子					
群	人文・	人文・社会科学科目群 分野(分類) 外目					国文献研究				使用言語 日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	マ 授業		形態	演習(対面授業科目)				
開講年度・ 開講期	2024·前期 曜時限 火3			ζ3		配当学年 2			回生以上対象学生		生	全学向	
「授業の概要・目的」													

公衆衛生学とは何か?/健康格差から見る問題点

将来、活躍の場を日本国内に限ることなく、世界に広げていけるような英語をできる人を育成する ため、公衆衛生学の観点からその基礎的な知識を英語で学ぶことを目的とする。

|最新かつ最先端の有益な情報を入手するため欠くことのできない英語知識や言語取得をそれぞれの |将来の必要性(Need Analysis)に基づき、学びまた体得できる機会を提供する。

公衆衛生学とは集団の健康と疾病を研究するものであるが、その中で社会的要因や経済要因により、 健康格差(The Health Gap)が問題になっている。この授業から健康格差が抱える問題点とどのよ うに改善することが可能かということをこの英語資料から学ぶことで世界、日本での問題点に関心 を持つことを目的とする。

[到達目標]

毎回できる限りinteractiveに英語を読み、理解し、話す機会を提供する。単なる訳読力を養うだけで はなく、内容にこだわり、現状等をかいまみる機会をつくりながら、リーディング力を伸ばすこと と自分で考え意見求めていくことを行う。教科書や配布資料等を読解しながら、summaryを英語で 発表、また、教科書以外の資料でディスカッションを行うことで、公衆衛生学における健康格差を 理解し、英語運用力を高める授業を実施する。

履修者は授業以外で、web等興味のある情報を入手し、積極的に簡単なプレゼンテーションができ るようにまとめることを必須とする。

[授業計画と内容]

- 1. Introduction公衆衛生とは?)
- 2. The Organization of Misery
- 3. Whose Responsibility?
- 4.健康格差に関する配布資料
- 5. Fair Society, Healthy Lives
- 6. Equity from the Start
- 7. Education and Empowerment(配布資料)
- 8. Working to live
- 9. Do Not GO Gentle
- 10.配布資料提供
- 11. Building Resilient Communities

外国文献研究(全・英)・E1 :公衆衛生学とは何か?/健康格差から見る問題点(2)へ続く

|外国文献研究(全・英)-E1 : 公衆衞生学とは何か?/健康格差から見る問題点(2)

- 12. Fair Societies
- 13. Living Fairly in the World
- 14.発表 (個人またはグループ)
- 15.フィードバック

配布資料は適宜授業内で提供する

[履修要件]

最初の授業で公衆衛生学とは何かを簡単に説明する。その後、授業中で必要な知識は英語教科書を 読みながら、説明していく。

まずはスタート時点では公衆衛生の知識は必要ではない。

[成績評価の方法・観点]

5回以上の欠席は評価対象にはなりません。

平常点評価・試験・レポートで評価をします。

- ・積極的な参加を希望します。
- ・出席と積極的な意見を求めます(50)
- ・授業内で配布した資料のサマリー等は提出していただきます。(30) 提出期間内に提出できなかった場合は必ずその理由を明確にし、メールをしていただくか、次の 授業後に連絡をしてください。
- ・グループで討論をする(20)

[教科書]

Michael Marmot The Health Gap: The challenge of an unequal world (Bloomsbury Publishing) ISBN: 978-1-4088-5797-7

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

終わったセクションの復習を必ず行ってください。常に関心のある論文は日ごろから集めて読むようにしてください。

積極的な授業参加を期待します。何かわからない部分がありましたら、必ず質問してください。授 業中に提出したものでも、自分が復習して理解しなおしたときはもう一度提出してくださって結構 です。

[その他(オフィスアワー等)]

質問、また欠席の理由等はメールでお願い致します。